

# エネルギー分科会

## 鍋帽子で手軽にエコ「エコクッキング教室」を開催しました！

1月16日(木)、今年度は大和郡山市環境政策課の御協力を頂き、大和郡山市中央公民館にてエコクッキング教室を開催しました。『家庭でできるCO2削減～ちょっとトクするエコの話～』と題したエコ講座では、NASOの遊津さんより「家庭から出るCO2排出量」についての話と「奈良の環境家計簿」を活用した事例を紹介し、「奈良友の会」からは「水を汚さない工夫」について実践経験をもとにした話をしました。

調理実習では鍋帽子を使って、バターライス、ロールキャベツ、かぼちゃプリンを3品を調理したほか、彩りサラダ、茹で大豆入りスイートピクルスも作りました。鍋帽子を使った調理方法では、5分～10分沸騰させただけで鍋をコンロから下ろし、後は鍋帽子をかぶせて保温しながら煮込みます。鍋帽子の保温力で料理は熱々、味がしみこんで大変おいしいと好評で、鍋帽子が火を使わないことから省エネ、しかも火災の心配もなく手間いらずな利点も感じていただけましたようです。

後片付けでは、お皿や鍋の汚れを古切れの布でふき取るなどし、できるだけ洗剤を使わない工夫をしました。調理を通して家庭で実践できるエコの取り組みや、CO2削減の必要性を認識して頂けたように思いました。また当日は奈良テレビの取材もあり、その日の県政フラッシュで紹介され、取組を広く周知して頂くことができました。

最後になりましたが、受講された皆様にはお忙しい中、エコクッキングに興味を持ち、ご参加下さり、ありがとうございました。家庭でも実践して頂けると嬉しいです。また本教室の開催にあたり、エネルギー分科会、県事務局、大和郡山市役所など多数の方々にご協力頂きました。ありがとうございました。

(奈良友の会 藤原)



# エコライフ分科会

## よみがえる川

川を美しい流れによみがえらせようとする沿川住民の水環境改善への意識は、年々向上しており、河川美化活動や家庭からの汚水を出来るだけ出さないといった取組が活発化している今日、海のない奈良県で「第34回全国豊かな海づくり大会」が開催されることとなったことは、大変意義深いことです。「豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐため健全な水環境を目指します」という基本理念のもとで、通例では天皇・皇后両陛下をお迎えし、平成26年11月に開催されます。

大会では、豊かな川の恵みに感謝して、県内生息魚類の放流が行われる予定で、この機会を捉え、エコライフ分科会でも河川美化活動、水環境改善への意識向上に向けた取組をより一層活性化させていきたいと考えています。

特に地域住民の方々が期待する「きれいな水が豊かに流れる川・鳥や魚など多種多様な生き物を育む川・水とのふれあいを持てる川」を目標に、地域住民に愛される川が創造されるよう尽力したいと思います。

その方策として

- ・アクリルタワシを活用した普及啓発活動
- ・家庭排水の水質改善運動
- ・河川美化清掃活動

といった活動を展開してまいります。そして、これらの活動を通じて、地域住民の方々も河川再生活動に興味をもち、水環境に親しみを持って貰う、ひいては全体の生活環境の向上や住みよい郷土づくりにつながっていくと考えています。

第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～

平成26年11月16日(日)

奈良県吉野郡大淀町・川上村で開催



(御所市地域婦人団体連絡協議会 中島)



# 資源活用分科会

## 3Rを考える (資源活用分科会活動報告)

資源活用分科会では、昨年度に作成した「修理屋リスト」について、小冊子の作成やウェブサイトへの掲載などの更なる活用をECO-net 生駒（生駒市環境基本計画推進会議）と共同で検討しています。また、11月に大阪湾フェニックス（大阪湾広域臨界環境整備センター）の大阪沖埋立処分場を見学しました。大阪湾フェニックス計画は、大阪湾の埋立により廃棄物の最終処分場として近畿2府4県168市町村の受入区域から発生した廃棄物を受け入れ、埋め立てた土地を活用して港湾機能の整備を図るもので、ここでは平成21年から受け入れを開始、広さ約95ha、埋立容量は約1400万 $\text{m}^3$ （東京ドーム112個分）で、現在は約17%が埋立されています。当初の計画では平成34年で満杯になってしまうと見込まれていましたが、処分量が減少してきたことにより現在では平成40年まで受入可能とのことでした。また汚濁物質を放流しない、太陽光発電の導入、魚類などの生育空間の形成など環境に配慮した取組も行われています。私たちの生活から必ず出るごみが最終処分場でどうなっているのかを実際に見たことで、将来どうなるのか、私たち自身がどうしていくべきなのかを考える事ができました。

(市民生活協同組合ならこーぷ 渡辺)



大阪湾広域臨界環境整備センター「大阪沖埋立処分場」

# 自然環境分科会

## 環境県民フォーラムの自然体験教室

### 秋の七草に出会う葛城山

平成25年9月1日、不安定なお天気の中での開催となりましたが、意外や意外！子ども達の感性に刺激されて楽しい一日になりました。「雄大な景色が望めない」とがっかりしていたのは大人たち。子どもたちは真っ白なガスに包まれて大喜び。葛城山上駅からはシラキトビナナフシさんが同行(!?)してくれたことで、いっそう楽しくなりました。道中、ヤマユギガ・サトクダマキモドキ・ツノカメムシ・キマワリ・エソゼミ・ブナ・マムシグサ・ツルニンジン・イタドリ・ナナカマド・ダイコンソウ等々を観察しながら歩きました。秋の七草については、ロープウェイ乗り場付近でクズを、またお花畑が広がる山頂付近では、今ではなかなか見ることができなくなったキキョウを始め、オミナエシ・ススキ・ナデシコ・ヒヨドリバナ（フジバカマの仲間）・ハギを観察することが出来ました。古来、薬草の山といわれた葛城山の植物も激減の一途を辿っています。観光開発や保全林整備事業をまぬがれたお花畑は、いつまでも残したい自然のひとつです。

(自然観察指導員奈良連絡会 有山)

### 稲刈り体験と棚田の自然学習会

平成25年10月27日、明日香村稲刈の棚田にて開催し約80名の方々にご参加頂きました。当日は久しぶりの秋晴れに恵まれました！

4つの班に分かれて稲刈りを開始、刈られたものは束にして藁でくくり、それをウマに掛けていきます。これは「はざ掛け」と言い、天日干しの為の作業です。作業の後は今西先生によります棚田にあふれる自然（花や草、昆虫等）に触れながらの学習会です。

そして、お楽しみの昼食！地元のお母さんが作って下さった古代米おにぎり、稲刈り伝統のごんだ煮、子供カレーなど、たいへん美味しい昼食でした。午後は、座っての学習会（復習）、クイズ、じゃんけん大会などのゲームでしめくくりました。おみやげは、新米（早場米）と枝付き黒豆。なお、この日収穫した米は予約販売を受け付け、11月に発送させて頂きました。

明日香の未来を創る会（打越）

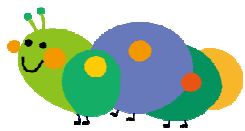


稲刈り

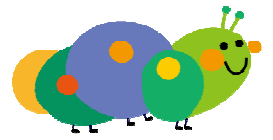


はざ掛け





# お知らせ・イベント情報



## ならコープは奈良県環境県民フォーラムと連携し、奈良県の環境活動に貢献します！

ならコープでは、奈良県エコキャラクター「な～らちゃん」使用の承認を受け、『米粉入り食パン』の売り上げの一部を奈良県環境県民フォーラムに寄附し、環境活動資金として活用していただくための準備を進めています。『米粉入り食パン』は、奈良県産ひのひかりを30%配合（粉配合比）しており、コンセプトは「米の原料産地、製造者、利用者も奈良県！」と地産地消にこだわった、ならコープ組合員自慢の食パンです。ならコープ全店と無店舗（トラックによる配達）にてお買い求めいただけます。

ならコープは『米粉入り食パン』を通じて、「な～らちゃん」と共に奈良県の環境をよりよくする取り組みを進めますので、県民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

（市民生活協同組合ならコープ 吉田）



## 平成26年度総会・交流会のお知らせ

日時：平成26年 4月22日（火） 13:30～16:30

場所：奈良文化会館 集会室A・B

※3/20までに参加報告をお願いします。

**募集中！！**

### エコな～らライフ宣言

- ・CO2ダイエットに取り組んで頂ける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 環境情報サイトエコならの宣言 web サイトから宣言  
(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)

### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

## やまと菜の花ねっと

## 菜の花・橘だより ひさかたの天の香久山 このゆうべ 霞たなびく 春立つらしも

霞たなびく春らしい気候となりました。今回は太陽祭祀や常世信仰に深く関わるとされる天の香具山にちなんだ歌を万葉集から引用してみました。「やまと菜の花ねっと」でも多くのフィールドが栽培する橘は古来「非時香菓(ときじくのかぐのこのみ)」とよばれ、常世の国から持ち帰った、冬にも青々とした葉が茂る、香りかぐわしい永遠の生命の木の實として尊ばれていました。また、なら橘プロジェクト推進協議会が推し進めるプロジェクトをはじめ、橘の御紋を掲げる寺社仏閣も多い奈良の古道をウォーキングまたはサイクリング道として復活させ、もう一度自然環境を大切にすることはもちろん、奈良の素晴らしい風土から生まれた文化や歴史遺産を大切に、伝えていこうとする取り組みが花を咲かせ、やがて環境や教育だけでなく観光や第六次産業など経済振興にもつながる実を結んでいくこと強く願っております。

## 自然環境セミナー&amp;菜の花交流会



紙面の関係で自然環境セミナー(「やまと菜の花ねっと」の菜の花交流会を含む)の記事を掲載させていただきます。昨年9月15日桜井市中央公民館に於いて有限会社山口農園の山口貴義代表を講師に迎え、従来の農家のスタイルを改め、有機農法で安全安心な食べものを作り、収益を上げることを目指す農園の取り組みについて、講演をいただきました。それに先立ち新しく搾れた菜種油の試食会を行い、素麺を使ったサラダなど新しいメニューを楽しみました。講演後は各フィールドの事例紹介を行いました。5行政機関と21団体を含む114名が集まり盛況のうちにセミナーを終えることができました。

奈良フィールド(北永井他10a.) NPO 法人宙塾 Email: [ohzorajuku@gmail.com](mailto:ohzorajuku@gmail.com) FAX: 0742-93-4785

## 大和の国・菜の花エコプロジェクト 「菜の花と橘で結ぶ 記紀万葉の道 サイクリングツアー」



菜の花移植・芋掘り in 北永井 F



薬師寺にて写経・伽藍めぐり体験



垂仁天皇陵にて橘PJ等の説明

11月3日・4日「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道サイクリングツアー」を実施しました。県内外の家族連れの観光客を対象にした企画でしたが、今回は関係者による調査研究として行いました。上ツ道のスタート地点である猿沢の池から御霊神社を経て、北永井フィールドへサイクリングをし、菜の花移植や芋掘り体験を楽しみ、その後護国神社を経て奈良佐保短期大学内のレストランで菜の花油や大和まななどを使った料理を楽しみました。翌日は薬師寺に集合し、松久保執事の説明を受けて写経や伽藍めぐりを体験し、その後サイクリングで垂仁天皇陵を経て大極殿に到着しました。参加者が植えた菜の花は、来年度に奈良市内の幼稚園や小学校の児童を通じて薬師寺等世界遺産の寺社に灯明油として奉納され、自然に対する感謝、世界平和、人類の幸福、震災の復興等を祈る祈祷・法要に使用されます。途中で立ち寄った垂仁天皇陵などでは橘プロジェクトや橘の歴史について学び、大極殿では、中ツ道(橘街道)、下ツ道(朱雀大路から続く)の説明をし、昔この地で行われた国づくりに携わった人々の高い志に思いをはせました。20名(うち子ども6名)の参加がありました。来年はシニアの観光客を対象にしたツアーを企画したいと思っております。「大和の国・菜の花エコプロジェクト」としても環境の視点も入れて、様々な団体と連携を図りながら、記紀万葉の古道復活に寄与したいと思います。実施・協力団体: NPO 法人宙塾、奈良橘プロジェクト推進協議会、奈良県立大学遠藤研究室、奈良佐保短期大学、G&L共生研究所、薬師寺

## 2つの橘プロジェクトが動き始めました

一昨年に「なら橋プロジェクト」が活動を始めましたが、いよいよ、この春には橘を使った和菓子やお茶などの試作品ができあがります。まだまだ、市場での販売とまではいきませんが、販路開拓に向けて知恵を出し合っています。また、橘でつながった仲間による「橘街道プロジェクト」も本格的に動き始めました。東は関東の埼玉や横浜、西は九州の熊本まで、さまざまな方々や団体とのネットワークができあがりつつあります。昨年の師走には、橘の自生地の商品化も進んでいる先進地の鳥羽市を訪ねました。また、新年に入ってから同じく先進地の西伊豆戸田地区の橘栽培地を訪問しました。そして、奈良での商品化のための橘の実の供給にもご協力いただけることになりました。橘を通した付き合いが今後どんな形で広がるか楽しみです。なら橋プロジェクトと橘街道プロジェクトのロゴマークもできあがり、ともに商標登録の申請中です。今年の秋には、明日香村で橘ミニサミットを開催する準備も進めています。当面の課題は、早く奈良県内で橘の実を確保できる体制づくりです。冬が寒い奈良で橘を栽培することは大変ですが頑張っています。皆様のご支援をお願いいたします。



## フィールド紹介 (菜の花イベント情報)

**葛城フィールド** NPO法人エコ葛城市民ネットワーク 市環境課 TEL:0745-69-3001 FAX: 0745-69-6456

菜の花祭り: 4月12日(土) 中央公民館(屋敷山公園)10:00~15:00(今年は45aに菜の花を植えました。)

**桜井フィールド** NPO法人さくらい菜の花プロジェクト西田 Email: [hideko.nishida@gmail.com](mailto:hideko.nishida@gmail.com) FAX: 0744-41-0317

菜の花祭り: 4月6日(日) 狛・岩坂フィールド 11:00~

**御所フィールド** 未来の環境を考える会 市環境政策課 神谷 TEL:0745-66-1087

菜の花祭り: 4月中旬 (今年は秋津の田んぼ15aに菜の花を植えました。)

**明日香村フィールド** 20a 明日香の未来を創る会 080-1461-5492(打越)・[k-uchil@hotmail.co.jp](mailto:k-uchil@hotmail.co.jp)

**田原本フィールド** 10a NPO法人ほっとねっと 寺前 TEL・FAX:0742-94-6800

菜の花イベント:5月31日(土) 済美ふれあい会館にて天ぷら試食会など開催 事務所移転しました。

**天理フィールド** 10a (旭日大教会) 環境市民ネットワーク天理 事務局長: 中島 TEL: 090-3487-9556

**奈良フィールド** 菜の花祭り: 4月13日(日) 北永井フィールド 10:00~14:30

室生からのうれしいお便り 今後「やまと菜の花ねっと」との連携を深めていってくださることを願っております。

## 宇陀市の室生深野で菜種栽培を始めました

昨年の秋、桜井市で開催された菜の花交流会(自然環境セミナー)への参加をきっかけに、室生深谷地区での菜種栽培が始まりました。きれいに圃場整備された田んぼの1枚(約500坪)を使った栽培です。深谷地区は、名張市の生活圏に入るほど奈良県の東端に位置しています。「にほんの里100選」に選ばれたのどかな山里で、道端には6月になるとササユリが可憐な花を咲かせます。深野のササユリ保存活動が昨年1月には、ユネスコの「プロジェクト未来遺産」に登録されました。今年の春は、深野の里を黄色の菜の花が彩ってくれることを楽しみにしています。菜の花プロジェクトの皆さんと共に歩みたいと思いますので、これからもよろしく願いいたします。

